

科目名	コマース研究ゼミナール	科目コード	1212	単位数	2
担当者名	西川 博史	開講セメスター	第7セメスター	開講年次	4年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

● 授業のねらい

中国の経済的台頭（世界経済における影響力の大きさ）は、本当に世界の経済秩序を変えることになるかを、検討する。世界経済の秩序とは何か、いつ形成されたか、どのような理由か、など歴史的考察を前提にして、アジア経済の在り方、特に中国経済の発展の在り方を考えるための基礎力を養う。

● 到達目標

「グローバル」という社会現象を通して、現代社会の仕組みを理解できるようにする。それに基づいて世界経済とアジア経済を（日本経済含む）の関係について理解させる。

● 授業内容

- 1週目 「中国脅威論」の根拠（歴史的根拠と論争）
  - 2週目 「中国脅威論」の根拠（現状と解釈）
  - 3週目 討論・レポートの課題説明・テスト等
  - 4週目 東アジア経済の統合と中国の役割（政治的情況）
  - 5週目 東アジア経済の統合と中国の役割（経済的情況）
  - 6週目 東アジア経済の統合と中国の役割（東アジア経済と中国）
  - 7週目 討論・レポートの課題説明・テスト等
  - 8週目 塗り替わる「世界の産業地図」（工業）
  - 9週目 塗り替わる「世界の産業地図」（農業）
  - 10週目 討論・レポートの課題説明・テスト等
  - 11週目 人民元国際化の動向（歴史的考察）
  - 12週目 人民元国際化の動向（現状の理解）
  - 13週目 討論・レポートの課題説明・テスト等
  - 14週目 台湾と中国（一国二制度は可能か）（歴史）
  - 15週目 台湾と中国（一国二制度は可能か）（現状）
  - 16週目 討論・レポートの課題説明・テスト等
- 但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

予習を義務づける。授業では、質問を行うので、理解力を高めること。復習は各自行うこと。

● 成績評価の方法・基準

随時、簡単な講義のまとめに関するレポートを課す。ゼミでは、質問・討議の方式を採用する。課題別のレポートを課す。これらを総合的に評価して、成績評価の基準とする。

● 履修上の留意点

活発な討議への参加を望む。

● 課題に対するフィードバックの方法

各項目に対し、各自レポートを用意する。  
2回の討論会で検討し、卒論にまでもっていく。  
レポートは朱を入れ、課題を明記して返却するので、それに基づいて再提出すること。

● テキスト

関志雄・朱建栄・精華大学国情研究センター編『中国が変える世界秩序』（日本経済出版社）2800円

● 参考書

蔡ファン著（西川博史訳）『中国の経済改革と発展の展望』（現代資料出版社 2800円）

● 更新日付

2020/03/04 09:44